

一般講演

(フラッシュ口演のご案内：ポスター会場における活発な討議を期待して、20日(金)9時から10時まで1演題2分間のフラッシュ口演を行います.)

1. テルサホール：P-1 ～ P-23
2. 大会議室：P-24 ～ P-47
3. 視聴覚研修室：P-48 ～ P-75

座長 今井 弘一(大阪歯科大学), 奥村 秀信((株)ノエビア), 大森 崇(同志社大学文化情報学部)
寒水 孝司(京都大学), 斎藤 幸一(住友化学(株)), 山下 邦彦(ダイセル化学工業(株))
仲原 聡((株)マンダム中央研究所), 森本 隆史(住友化学(株)), 石井 宏(マルホ(株))

P-1

動物実験(LLNA)データのみから作成した皮膚感作性定性的構造毒性相関(QSTR)モデル

佐藤 一博¹, 湯田 浩太郎², 日下 幸則¹

¹福井大学 医学部 環境保健学, ²インシリコデータ

P-2

有害性評価支援システム統合プラットフォーム(HESS)II

—未試験化学物質の反復投与毒性の予測に有用な *in vitro* 試験の提案—

山田 隆志¹, 田中 雄四郎¹, 長谷川 隆一¹, 櫻谷 祐企¹, 山田 隼¹, 吉成 浩一²,

山添 康², 小野 敦³, 広瀬 明彦³, 林 真⁴

¹製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター, ²東北大学 大学院薬学研究科

³国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

⁴食品農医薬品安全性評価センター

P-3

ニューラルネットワーク手法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(I) ～*in vitro* 試験を用いた解析～

廣田 衛彦¹, 跡部 朋美¹, 足利 太可雄¹, 上月 裕一¹, 相場 節也²

¹資生堂 リサーチセンター

²東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野

P-4

ニューラルネットワーク手法を用いた皮膚感作性評価への取り組み(II) —*in silico* を用いた解析—

跡部 朋美, 廣田 衛彦, 足利 太可雄, 上月 裕一

資生堂リサーチセンター

P-5

In silico 手法を用いた遺伝毒性予測

相葉 摩紀, 廣田 衛彦, 上月 裕一

資生堂 リサーチセンター

P-6

動物実験代替法へのインシリコ毒性予測の融合を目指した研究(1)

湯田 浩太郎

株式会社 インシリコデータ

P-7

代替法のデータに基づいた構成法の異なる比の95%信頼区間の比較

森 梓, 丸谷 あおい, 小林 真弓, 大森 崇

同志社大学 文化情報学部

P-8

Hand1-Luc EST 試験法におけるIC50とID50の関係の検討

小林 真弓¹, 鈴木 紀之², Le Coz Florian², 永堀 博久², 斎藤 幸一²,

森 梓¹, 丸谷 あおい¹, 大森 崇¹

¹同志社大学 文化情報学部, ²住友化学(株) 生物環境科学研究所

P-9

BALB/c マウスにおける皮膚感作性のための代替方法として、局所リンパ節アッセイの評価

Yujeong Lee¹, Mi-Sook Jung¹, Eun-Young Jeon¹, Heung-Mo Bae¹, Sang-Koo Lee¹, Jong-Koo Kang²

¹バイオトクステク 薬理部 薬効薬理科, 韓国

²忠北大学, 清酒 361-763, 韓国

P-10

新規 Lys および Cys 誘導体を用いた皮膚感作性予測法の開発

藤田 正晴¹, 笠原 利彦¹, 神保 良弘², 日置 孝徳¹

¹富士フイルム株式会社 CSR 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター

²富士フイルム株式会社 R&D 統括本部 有機合成化学研究所

P-11

難水溶性物質の皮膚感作性評価におけるh-CLATの予測精度

竹之内 修¹, 黒田 康嵩¹, 齋藤 和智¹, 宮澤 正明¹, 足利 太可雄², 坂口 斉¹
¹花王株式会社, ²株式会社資生堂

P-12

LLNA:DAE法の開発と研究室内バリデーションの結果

山下 邦彦^{1,3}, 篠田 伸介², 萩原 沙織², 板垣 宏³
¹株式会社 ダイセル, ²株式会社 薬物安全性試験センター, ³横浜国立大学

P-13

ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替モデル(下面暴露法)

内野 正¹, 清水 久美子¹, 竹澤 俊明², 山下 邦彦³, 小島 肇¹, 秋山 卓美¹,
五十嵐 良明¹
¹国立医薬品食品衛生研究所, ²農業生物資源研究所, ³株式会社ダイセル

P-14

IL-8 Luc assayの施設間差試験およびデータセットの作製

木村 裕¹, 藤村 千鶴¹, 渡辺 美香², 齋藤 るみ子^{2,3}, 鈴木 紀之⁴, 岩城 知子⁵, 山影 康次²,
齋藤 幸一⁴, 中島 芳浩⁵, 近江谷 克裕⁶, 酒井 綾子², 丸谷 あおい⁷, 大森 崇⁷,
山崎 晶次郎⁸, 小島 肇⁹, 田中 憲徳⁸, 相場 節也¹
¹東北大学 大学院 医学系研究科 皮膚科学講座, ²(一財)食薬センター 秦野研究所
³東北大学 東北メディカル・メガバンク機構, ⁴住友化学(株) 生物環境科学研究所
⁵(独)産総研 健康工学研究部門, ⁶(独)産総研 バイオメディカル研究部門
⁷同志社大学, ⁸(公財)鳥取県産業振興機構, ⁹国立医薬品食品衛生研究所

P-15

IL-8 Luc assayにおけるばらつきを考慮した判定基準の提案

丸谷 あおい¹, 相場 節也², 木村 裕², 渡辺 美香³, 鈴木 紀之⁴, 岩城 知子⁵, 山影 康次³,
齋藤 幸一⁴, 中島 芳浩⁵, 近江谷 克裕⁶, 山崎 晶次郎³, 小島 肇⁷, 田中 憲徳³, 小林 眞弓¹,
森 梓¹, 大森 崇¹
¹同志社大学 文化情報学部, ²東北大学大学院医学系研究科皮膚科学講座
³(財)食品薬品安全センター 秦野研究所, ⁴住友化学(株) 生物環境科学研究所
⁵(独)産総研健康工学研究部門, ⁶(独)産総研 バイオメディカル研究部門, ⁷国立医薬品食品衛生研究所

P-16

ヒトiPS細胞を用いたembryonic stem cell test—サリドマイドの発生毒性

相川 信夫¹, 國里 篤志², 高場 克己¹, 長尾 研二², 大上 欽也¹, 日下 英昭¹
¹協和発酵キリン株式会社 研究本部 富士リサーチパーク 探索研究所
²協和発酵キリン株式会社 研究本部 東京リサーチパーク バイオ医薬研究所

P-17

マウス子宮ならびに卵管由来の初代細胞をfeeder layerとした場合におけるES細胞分化への影響

今井 弘一¹, 末瀬 一彦², 本田 義知³, 高島 宏昌⁴
¹大阪歯科大学歯科理工学講座
²大阪歯科大学歯科技工士専門学校, 歯科衛生士専門学校
³大阪歯科大学中央歯学研究所, ⁴(株)イナリサーチ

P-18

歯科用金銀パラジウム組成元素イオンがin vitro毛細血管新生に及ぼす影響

今井 弘一¹, 西川 哲成², 岡村 友玄², 田中 昭男², 本田 義知³, 末瀬 一彦⁴
¹大阪歯科大学歯科理工学講座, ²大阪歯科大学口腔病理学講座
³大阪歯科大学中央歯学研究所
⁴大阪歯科大学歯科技工士専門学校, 歯科衛生士専門学校

P-19

ナノマテリアルの催奇形性評価に関する基礎的検討

～in vitro代替法の構築に向けて～

吉岡 靖雄¹, 小椋 健正¹, 田代 克久², 川端 健二^{1,2}, 水口 裕之^{1,2,3},
東阪 和馬¹, 堤 康央^{1,2,3}
¹大阪大学大学院 薬学研究科, ²医薬基盤研究所, ³臨床医工学融合研究教育センター

P-20

ナノサイズで分散可能なハイドロキシアパタイト結晶の開発

岡田 正弘¹, 大森 裕子², 武田 昭二¹, 松本 尚之²
¹大阪歯科大学 歯科理工学講座, ²大阪歯科大学 歯科矯正学講座

P-21

In vitro 培養肺胞モデルと数理モデルシミュレーションによる

ナノ粒子肺胞透過量評価

青山 拓矢¹, 岩沢 こころ¹, 篠原 直秀², 張 貴華², 蒲生 昌志², 酒井 康行¹

¹東京大学 生産技術研究所, ²産業技術総合研究所

P-22

細胞の直接観察が可能な低結晶性アパタイト透明体の作製と評価

上平 真代¹, 藤原 敬子¹, 松本 尚之¹, 武田 昭二², 岡田 正弘²

¹大阪歯科大学 歯科矯正学講座, ²大阪歯科大学 歯科理工学講座

P-23

Hanging Drop 法により作製した癌スフェロイドとヒト間葉系幹細胞の相互作用に関する研究

—モーター抗体を用いた高効率量子ドット細胞導入法の応用—

植村 寿公¹, Mika Pietilae², Petri Lehankari², Sunil Kaul³, Renu Wadhwa³

¹産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門, ²オウル大学

³産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

P-24

マウス ES 細胞を用いた in vitro 神経毒性評価系構築の検討

小林 久美子, 鈴木 紀之, 桑原 篤, 安藤 覚, 住田 佳代, 斎藤 幸一

住友化学(株) 生物環境科学研究所

P-25

ECM 模倣基材と薄層ゲル培養法を併用した新規神経系バイオアッセイデバイスの開発

水町 秀之, 井嶋 博之

九州大学大学院 工学研究院 化学工学部門

P-26

Neuro2a 細胞を用いた海洋性自然毒の検出法

長谷川 晶子, 中村 瑞那, 秦 眞美, 山下 照夫, 皆川 洋子

愛知県衛生研究所 生物学部 医動物研究室

P-27

p53R2 遺伝子発現に基づくヒト細胞遺伝毒性試験 (NESMAGET、第 16 報)

—代謝活性化における種差の検討—

溝田 泰生, 伊藤 美奈, 大野 克利, 山田 敏広

日清食品ホールディングス(株) 食品安全研究所

P-28

難水溶性物質評価のための 3T3 NRU 光毒性試験の改良

豊田 明美¹, 杉山 菜希¹, 降畑 誠一郎¹, 西住 圭治¹, 板垣 宏²

¹ポニー化成工業株式会社 品質研究部 安全性評価室

²横浜国立大学

P-29

3次元培養モデルを用いた光毒性評価法の開発

藍澤 早希子, 鶴巻 実香, 今井 教安, 増永 卓司

株式会社コーセー 基礎研究室

P-30

ROS assay を中心とした化粧品原料の in vitro 光安全性評価

鈴木 源¹, 加藤 尚視¹, 廣田 衛彦², 西田 勇人², 北垣 雅人², 上月 裕一²,

尾上 誠良¹, 山田 静雄¹

¹静岡県立大学大学院 薬物動態学分野, ²資生堂リサーチセンター

P-31

Peer review of the Japanese validation study of the ROS in vitro phototoxicity assay for ICH

Hajime Kojima¹, W Stokes², I Horii³, BH Kim⁴, Horst Spielmann⁵

¹National Institute of Health Sciences, Tokyo, Japan,

²North Carolina State University, Raleigh, NC, USA,

³Pfizer, Nagoya, Japan, ⁴Keimyung University, Daegu, Korea,

⁵Panel Chairman, Freie Universität Berlin, Berlin, Germany

P-32

光毒性リスク評価のための fluorescent reactive oxygen species assay (fROS assay) 開発

大竹 啓斗, 加藤 尚視, 尾上 誠良, 山田 静雄

静岡県立大学 薬学部

P-33

Enzymatic reactive oxygen species assay (eROS assay) の開発: 代謝物の光毒性予測を目指して
加藤 尚視, 大竹 啓斗, 尾上 誠良, 山田 静雄
静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 薬物動態学分野

P-34

原子間力顕微鏡を用いた3次元培養皮膚モデルの評価方法の検討
関 禎子¹, 竹内 千晶², 松田 紗苗², 皮間 未来², 月村 亘¹, 関 宏也³, 久間 将義², 伊藤 典彦^{1,4,5}
¹東京工業大学 大日精化バイオマテリアル創成寄附研究部門
²東洋ビューティ株式会社 中央研究所, ³東京工業大学 資源化学研究所
⁴鳥取大学 農学部附属動物医療センター, ⁵東京医科大学 眼科学

P-35

再構成ヒト表皮モデルを用いた角質層形成の評価
花田 孝雄, 板原 裕一, 加藤 雅一, 井家 益和, 畠 賢一郎
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

P-36

化学物質のヒト皮膚透過予測における Strat-MTM の有用性
金井 沙由美, ラディカダハム ウィサム, ヴィエジバ コンスタンティ, 藤堂 浩明, 杉林 堅次
城西大学 薬学部

P-37

単層培養系を用いた皮膚一次刺激性評価フローの提案
野村 茂幸, 後藤 祐一郎, 谷川 浩子, 今井 教安, 増永 卓司
株式会社コーセー 基礎研究室

P-38

敏感肌を対象とした *in vitro* 皮膚刺激性試験の検討(第3報)
池田 英史, 西浦 英樹
日本コルマー株式会社 研究開発本部 基礎研究部

P-39

皮膚一次刺激性代替法特別委員会検討経緯報告
杉山 真理子, 今井 教安, 大森 崇, 萩野 滋延, 藤堂 浩明, 豊田 明美, 杉林 堅次
日本動物実験代替法学会 皮膚一次刺激性試験代替法特別委員会

P-40

Predicting Ocular Irritation of Surfactants Using the Bovine Corneal Opacity and Permeability Assay
Jackie E. Bader¹, Kimberly G Norman¹, Hans Raabe¹
¹Institute for In Vitro Sciences, Inc., Gaithersburg, MD, USA

P-41

Evaluation of the Eye Stinging Potential of Baby Shampoos by Assessing TRPV1 Channel Activity
Anna Forsby¹, Kimberly Norman², Lindsay Krawiec², Johanna EL Andaloussi-Lilja¹,
Jessica Lundqvist¹, Beata Wojcik³, Vincent Walczak³, Rodger Curren², Katharine Martin³, Neena Tierney³
¹ Department of Neurochemistry, the Arrhenius Laboratories for Natural Science,
Stockholm University, Stockholm, Sweden
² Institute for In Vitro Sciences, Inc., Gaithersburg, MD, USA
³ Johnson & Johnson Consumer and Personal Products Worldwide, Skillman, NJ, USA

P-42

Validation and Application of the KeratinoSens Assay, a Novel *In Vitro* Skin Sensitization Assay
Hans Raabe¹, Nicole Barnes¹, Allison Hilberer¹, Andreas Natsch², Kimberly Norman¹, Nathan Wilt¹, Rodger Curren¹
¹Institute for In Vitro Sciences, Gaithersburg, MD, USA
²Givaudan Schweiz AG, Duebendorf, Switzerland

P-43

Guidance on the Implementation of new laboratory animal welfare legislation in EU
Anderso B David, Louhimies Susanna
European Commission, Brussels

P-44

不死化ヒト角膜上皮細胞株(iHCE-NY)を用いた三次元角膜再構築モデルの作製

加藤 義直¹, 山本 直樹², 佐藤 淳¹, 中田 悟¹, 小島 肇³

¹日本メナード化粧品株式会社 総合研究所

²藤田保健衛生大学 共同利用研究施設

³国立医薬品食品衛生研究所

P-45

豚培養角膜片を用いた新規点眼毒性試験モデルの免疫組織学的検討

高橋 広樹¹, 田島 一樹¹, 加藤 駿介², 服部 貴明¹, 伊藤 典彦^{1,3}, 後藤 浩¹

¹東京医科大学 眼科, ²東京薬科大学

³東京工業大学 大日精化バイオマテリアル創成寄附研究部門

P-46

牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法(BCOP法)における被験物質の濃度および曝露時間の影響

古川 正敏¹, 榎原 隆史¹, 六川 潤美¹, 伊藤 浩太¹, 佐々木 啓¹, 平賀 武夫², 小島 肇³, 松浦 正男¹

¹株式会社 化合物安全性研究所, ²酪農学園大学 獣医学群

³国立医薬品食品衛生研究所

P-47

SIRC-CVS 試験を用いた眼刺激性評価代替法の国際バリデーション研究 (II)

大森 崇¹, 簾内 桃子², 池田 英史⁴, 中村 香織³, 鄭 美淑⁵, 山影 康次⁶, 萩野 滋延⁷, 小島 肇²

¹同志社大学 文化情報学部 疫学・生物統計学研究室

²国立医薬品食品衛生研究所, ³(株)ボソリサーチセンター東京研究所

⁴日本コルマー (株)研究開発本部, ⁵(株)バイオクステック

⁶(一財)食品薬品安全センター秦野研究所, ⁷(株)資生堂リサーチセンター

P-48

VitrigE-EIT (Eye Irritancy Test) 法のプレバリデーション研究

小島 肇¹, Nicole Kleinstreuer³, Chae-Hyung Lim⁴, 寒水 孝司⁵, 渡辺 美香⁶, 新妻 健⁶,

山下 邦彦⁷, 福田 隆之⁸, 山口 典子⁸, 藤原 聖⁸, 山口 宏之^{2,9}, 竹澤 俊明²

¹国立医薬品食品衛生研究所, ²(独)農業生物資源研究所, ³ILS/NICEATM/ICCVAM,

⁴KOCVAM/MFDS, ⁵京都大学, ⁶(一財)食品薬品安全センター 秦野研究所, ⁷(株)ダイセル,

⁸(株)ボソリサーチセンター, ⁹関東化学 (株)

P-49

薬物代謝を反映するインビトロレポータージーンアッセイの開発

吉成 浩一, 中島 宏之, 野表 知世

東北大学大学院 薬学研究所

P-50

コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを用いたヒト肝がん細胞の肝機能の賦活化培養法へ与える

サンドイッチ培養および共培養システムの効果

押方 歩¹, 石田 誠一², 竹澤 俊明¹

¹(独)農業生物資源研究所 動物科学研究領域

²国立医薬品食品衛生研究所 薬理部

P-51

中空糸膜型三次元細胞培養モジュールを用いたヒト肝細胞の長期培養と毒性評価への応用

松下 琢¹, 石井 貴晃¹, 渋谷 望², 柳 麻美子², 生田 健次郎², 日下 孝司²

¹崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科, ²三菱レイヨン(株)横浜研究所

P-52

有害性評価支援システム統合プラットフォーム(HESS) I

一肝毒性予測感度の検討一

大内 淳子¹, 笠松 俊夫¹, 櫻谷 祐企², 山田 隆志², 西山 直宏¹, 山田 隼²

¹花王株式会社 安全性科学研究所

²製品評価技術基盤機構(NITE) 化学物質管理センター

P-53

2色蛍光によるCYP3A4およびCYP3A7の同時発現量評価:ヒト肝癌細胞株HepG2とHepaRGの

利用

辻 咲織¹, 川村 文彦², 首浦 武作志², 林 礼佳², 大林 徹也³, 香月 康宏^{2,4}, 押村 光雄^{2,4}, 多田 政子⁴

¹鳥取県産業振興機構 バイオフロンティア推進室

²鳥取大学大学院 医学系研究科 機能再生医科学専攻

³鳥取大学 生命機能研究支援センター 動物資源開発分野

⁴鳥取大学 染色体工学研究センター

P-54

マイクロウェルチップを利用したラット肝細胞と3T3細胞のスフェロイド共培養
後藤 優希, 吉浦 由貴子, 中澤 浩二
北九州市立大学 国際環境工学部 環境生命工学科

P-55

フィーダー細胞の違いによるCell-able™プレート上のマウス初代肝細胞スフェロイドにおける肝機能の検討
若栗 忍¹, 齋藤 るみ子^{1,2}, 佐々木 澄志¹, 権藤 麻衣子¹, 遠藤 伸子¹, 須井 哉¹, 山影 康二¹
¹一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 代替法試験部
細胞発がん研究室, ²東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門

P-56

非実質細胞との共培養による肝スフェロイドの機能安定化と代謝機能の解析
長村 麻紗子¹, 沖村 沙耶¹, 佐々木 皓平¹, 鈴木 聡², 大塚 英典¹
¹東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻, ²HAB 研究機構附属研究所

P-57

初代肝細胞の長期安定化を目的とした新規 semi-IPN ゲルシステムの確立
高橋 雄樹, 長村 麻紗子, 沖村 沙耶, 大塚 英典
東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻

P-58

肝代謝活性を考慮した in vitro 発生毒性試験法の検討
中村 和昭, 相澤 和子, 堀 尚子, 田上 昭人
国立成育医療研センター研 薬剤治療

P-59

Functions and gene expressions of cultured-primary rat hepatocytes on oxygen-permeable membranes under physiological oxygen concentrations
Wenjin Xiao¹, Hitoshi Matsui², Marie Shinohara¹, Kikuo Komori¹, Tomoharu Osada², Yasuyuki Sakai¹
¹Institute of Industrial Science (IIS), University of Tokyo, Japan
²Mitsubishi Chemical Medience Corporation, Japan

P-60

A hierarchical co-culture for mimicking liver-specific microvasculature to model liver-specific metastasis
Mohammad Mahfuz Chowdhury¹, Mathieu Danoy Danoy², Shohei Kaneda¹, Teruo Fujii¹, Yasuyuki Sakai¹
¹Institute of Industrial Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
²University of Lille 1, France

P-61

培養ラット胎児への生薬の影響:カンカエキスの場合
横山 篤¹, 秋田 正治²
¹神奈川生命科学研究所
²鎌倉女子大学 家政学部

P-62

培養ラット胎児へのイソクエルシトリン (IKS)の影響
横山 篤¹, 秋田 正治²
¹神奈川生命科学研究所
²鎌倉女子大学 家政学部

P-63

生理的濃度での肌のターンオーバー、並びに毒性の迅速定量評価
—1時間で判定—
小名 俊博^{1,2}, 柴田 純子²
¹九州大学 大学院 農学研究院
²オーケーラボ有限公司 Cell BET 事業部

P-64

培養細胞を用いた試験における難水溶性物質の曝露方法の検討
成田 和人, 石原 有人¹, 小島 肇², 板垣 宏¹
¹横浜国立大学大学院 工学府 機能発現工学専攻
²国立医薬品食品衛生研究所

P-65

新規骨分化培地がマウスおよびヒト間葉系幹細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響

本田 義知¹, 橋本 典也², 今井 弘一², 武田 昭二²

¹大阪歯科大学 中央歯学研究所, ²大阪歯科大学 歯科理工学講座

P-66

免疫毒性評価系としての Multi-Immuno Tox Assay (MITA)の有用性評価

木村 裕¹, 藤村 千鶴¹, 近江谷 克裕², 相場 節也¹

¹東北大学 大学院 医学系研究科 皮膚科学講座

²(独)産総研 バイオメディカル研究部門

P-67

薬剤性組織傷害評価モデルとしての GFPトランスジェニックカイコへの応用

稲垣 善則¹, 松本 靖彦¹, 松谷 安恵², 坪田 拓也³, 瀬筒 秀樹³, 関水 和久^{1,2}

¹(学)東京大学大学院 薬学系研究科

²(株)ゲノム創薬研究所

³(独)農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究開発ユニット

P-68

Silkwormを用いた急性経口毒性試験代替法の開発 第2報

杉田 拓也¹, 山本 裕¹, 植木 拓朗¹, 西田 智², 浜本 洋³, 松本 靖彦³, 関水 和久^{2,3}, 奥村 秀信¹

¹(株)ノエビア, ²(株)ゲノム創薬研究所, ³東京大学大学院薬学系研究科

P-69

心筋虚血再灌流細胞障害モデルにおけるコネクシン 43 タンパク質の発現抑制とアセチルコリンの関与の影響

有海 秀人, 石崎 裕馬, 吉山 友二

北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 保険薬局学

P-70

ヒト毛細血管 3次元培養におけるサンゴ粒子の応用

岡村 友玄¹, 西川 哲成¹, 和唐 雅博¹, 富永 和也¹, 嘉藤 弘仁¹, 今井 弘一², 武田 昭二², 田中 昭男¹

¹大阪歯科大学 口腔病理学講座, ²大阪歯科大学 歯科理工学講座

P-71

コラーゲンを介して3次元培養した HMS0014 細胞による硬組織形成と細胞外基質の変化

隈部 俊二, 中塚 美智子, 上田 甲寅, 安 春英, 乾 千球子, 岩井 康智

大阪歯科大学 口腔解剖学講座

P-72

In Vitro ヒト歯根膜様組織に対する歯科矯正力をシミュレートした荷重の影響

廖 文¹, 岡田 正弘², 居波 薫³, 橋本 典也², 西浦 亜紀³, 松本 尚之³

¹大阪歯科大学 大学院歯学研究科 歯科矯正学講座

²大阪歯科大学 歯科理工学講座, ³大阪歯科大学 歯科矯正学講座

P-73

去痰薬を配合した OTC 感冒薬の服用がもたらす抗インフルエンザ効果の検討

玉城 武範, 有海 秀人, 吉山 友二

北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 保険薬局学

P-74

KeraSkinTM-VM: A novel reconstructed human epidermis model for skin irritation tests

Kyoung-Mi Jung¹, Su-Hyon Lee², Won-Hee Jang¹, Haeng-Sun Jung², Young-Ho Park¹, SeungHyeok Seok³,

Kyung-Min Lim⁴

¹Amorepacific Co. R&D Center, Yongin 446-729, Republic of Korea

²Modern Cell & Tissue Technologies Inc., Seoul 139-743, Republic of Korea

³Department of Microbiology and Immunology, and Institute of Endemic Disease,

Seoul National University Medical College, Seoul 110-799, Republic of Korea

⁴College of Pharmacology, Ewha Womans University, Seoul 120-808, Republic of Korea

P-75

Bayesian Integrated Testing to assess the Skin Sensitization Potential of Chemicals

Petra Kern¹, Yuri Dancik², Cindy Ryan³, Leslie Foertsch³, Andreas Natsch⁴, Frank Gerberick³, Joanna Jaworska²

¹Procter & Gamble Technology, Shunyi District, Beijing, 101312, P.R.China

²Procter & Gamble NV., 100 Temselaan, 1853 Strombeek - Bever, Belgium

³Procter & Gamble Company, Cincinnati, USA

⁴Givaudan Schweiz AG, Ueberlandstrasse 138, CH-8600, Dübendorf, Switzerland